

各対応策の取組状況一覧

※該当する資料番号をあわせてご覧ください。

資料 1

短期（3年以内）

※赤字で記載している内容が昨年度から更新された内容になります。

項目	対応策	取組の進捗状況
1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充	① 東口駅前広場に発着している、県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線発着場所の西口への移転	西口発着の多頻度路線の運行効率化と併せた路線の移転を検討しています。今後、関係事業者との調整が整い次第、具体的な実施内容について、地域の方も含めて調整を進めていきます。
4 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進	① 暫定交通広場の活用による都市機能の増進	東口駅前広場の混雑緩和対策等の検討を踏まえ、当該土地の活用方法について検討を進めます。
5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車の適正化	① 駅前の駐停車対策等の検討 ア 戸塚駅前線（戸塚駅西口駅前）の駐停車対策	戸塚駅西口の戸塚駅前線等の一部区間に駐停車禁止区域を設け、交通流の円滑化を図る社会実験を令和2年2月24日～3月1日までの1週間実施しました。社会実験結果に対し、実施方針をまとめ、送迎車両の乗降場の確保するため、戸塚第2バスセンターを改良し、送迎バス乗降場の設置や一般車乗降場の増設について整備しています。また、来年度春頃に戸塚駅前線での駐停車禁止の交通規制を予定しています【資料2】
	① 駅前の駐停車対策等の検討 イ 戸塚駅西口第3地区の駐停車対策	違法駐車が多い箇所についてポストコーンを設置しました。（R1、R2） 違法駐車が多い箇所について直近交差点明示の赤枠設置を行いました。（R4.11月）
	② 一般車乗降場の確保検討 ア 第2交通広場（区役所下）の円滑な運用	利用者の利便性に配慮し、場内の利用状況に応じて柔軟に対応しています。 R3年度に実施した利用実態調査の結果に基づき、広場の利便性向上を目的とした。同広場の愛称命名や、案内誘導サイン等の改修を実施します。（R5年度中）【資料1-1】
	③ 自動車交通の円滑化検討 ア 市道戸塚第520号線（区役所と戸塚パルソの間）の交通円滑化の対策実施	車道拡幅の実施と、違法駐車防止看板を設置しました。（平成30年度） 周辺商店街等と協力しながら、荷捌き車両の適正な運用に向けた検討や、送迎などの一般車両への注意喚起等を行っていきます。
6 自転車利用環境の向上	① 自転車通行空間整備実行計画の策定	令和2年3月に「戸塚駅周辺自転車通行空間整備実行計画」を策定し、自転車通行空間の整備を進めています。 ・吉田大橋交差点～上倉田交差点まで自転車通行空間を整備（R4年度）【資料1-1】

中期（5年以内）

項目	対応策	取組の進捗状況
1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充	② 明治学院大学行きバス発着場所の移転	喫緊の課題に対応するため、暫定的に広場内の交通島へ発着場所を移転しました。（R3.4月）引き続き、広場外への移転について関係事業者と調整を進めます。
2 駅周辺のバリアフリー化	① バリアフリー基本構想の策定（スパイラルアップ）・特定事業等の実施	「戸塚区バリアフリー基本構想」に位置づけた特定事業について、各施設設置管理者が事業を行っています。（平成30年度～） ※R5完了事例：東戸塚地区センター点字ブロック改修（輝度比確保） 舞岡駅券売機改修（非常ボタン等点字標記の設置、情報版の改善）
3 柏尾川沿いの水辺の魅力向上	① 健康みちづくりによるプロムナードの魅力向上	「柏尾川健康づくりコース」を拡充し、距離標やルート案内板のデザイン検討、植栽や歩道舗装等の改修方針等を含めた整備更新計画を策定しました。 ・プロムナードの自転車道の舗装補修を実施しました（R5年度）【資料1-1】 ・プロムナードのベンチ補修を実施しました。（R4年度）【資料1-1】
5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車の適正化	① 駅前の駐停車対策等の検討 ウ 舞岡戸塚線（戸塚駅東口駅前）の駐停車対策	令和4年度に実施した交通社会実験の結果を踏まえ、戸塚駅東口の舞岡戸塚線でのカラー防護柵の設置による駐停車対策を実施しました。また、その他の課題についての検討と対策を進めます【資料3】
	③ 自動車交通の円滑化検討 イ 市道矢部第129号線（坂本道路）の拡幅及び蔵坪交差点改良	JR側の水路部分を拡幅しました。（令和元年度） 蔵坪交差点の抜本的な改良について今後検討していきます。
7 安全な歩行者空間の確保	① 既存道路を活かした歩行者対策 イ バスセンター前交差点の交通流の円滑化	当該交差点ではカウントダウン式の歩行者信号機の導入や日中の歩行者青時間が延長されています。更なる改善については、警察と連携し検討を行っていきます。

項目	対応策	取組の進捗状況
1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充	③ バス・タクシー等の乗降場所全体の再編成	令和3年度には、現状や利用実態の把握と、課題や原因を整理することを目的とした、現況調査を実施しました。広場内の混雑緩和状況を見ながら、再編・再配置、機能拡充の検討を関係機関と進めています。【資料1-1】
2 駅周辺のバリアフリー化	② 東口駅前広場のバリアフリー化検討	東口駅前広場のバス・タクシー等を含めた広場全体の乗降場所の再編成等を踏まえ、対応の方向性を整理し、改善方法を検討します。令和3年度に駅前広場内のバリアフリールートサインの新設・更新を実施し、タクシー乗り場や地下鉄などへの案内・誘導の強化を行いました。
5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車の適正化	③ 自動車交通の円滑化検討 ウ 国道1号道路整備（都市計画道路柏尾戸塚線）	国道1号（都市計画道路柏尾戸塚線）のバスセンター前交差点から八坂神社前交差点までの間は、幅員20mの4車線道路として拡幅する都市計画が決定されていますが、整備財源となる国費が十分に確保できない状態が続いており、着手時期については、国の予算や他の事業中路線の進捗状況を見ながら検討していきます。
6 自転車利用環境の向上	② 駐輪場の附置義務制度の適切な運用	駅周辺における集客施設の新設・増設の機会を捉えて、自転車駐車場の設置を着実に進め、駐輪環境の改善を図ります。 ○戸塚区内 集客施設（新築2件・増築1件、202台） 共同住宅等（新築8件、193台）
7 安全な歩行者空間の確保	① 既存道路を活かした歩行者対策 ア 市道矢部第281号線（住宅展示場前）の歩道拡幅	戸塚駅側の区間については平成30年度に歩道の拡幅を実施しました。残りの区間については、現在、土地所有者と用地交渉を進めています。 ※関連事業：JR側の車道の一部を令和2年度に拡幅しました。
	① 既存道路を活かした歩行者対策 ウ 元吉倉橋周辺の歩行者対策	元吉倉橋については、戸塚駅東口の利用者数や周辺施設・経路など、前提条件が固まった後に、整備の在り方を検討します。
	② まちづくりの推進による歩行者空間の確保 ア 戸塚駅西口第3地区のまちづくり計画等の推進	建物の建替えを検討されている方に対して、引き続きまちづくり計画へのご協力をお願いしていきます。

各取組の整備・検討状況

5-②-ア 第2交通広場（区役所下）の円滑な運用



▲現在のロータリー入口



▲愛称サイン設置後のイメージ

第2交通広場の利用率向上に向け、「区役所ロータリー」という愛称に命名し、ロータリー入口付近への愛称サイン設置や、周辺からの誘導サインの改修を2～3月に実施します。

6-① 自転車通行空間整備実行計画の策定 令和5年2月施工

整備前



整備後



吉田大橋交差点～上倉田交差点まで自転車通行空間を整備しました。

3-① 健康みちづくりによるプロムナードの魅力向上（自転車道の舗装補修） 令和5年11月施工

整備前



整備後



プロムナードの自転車道の舗装補修を実施しました。

3-① 健康みちづくりによるプロムナードの魅力向上（ベンチ補修） 令和5年3月施工

整備前



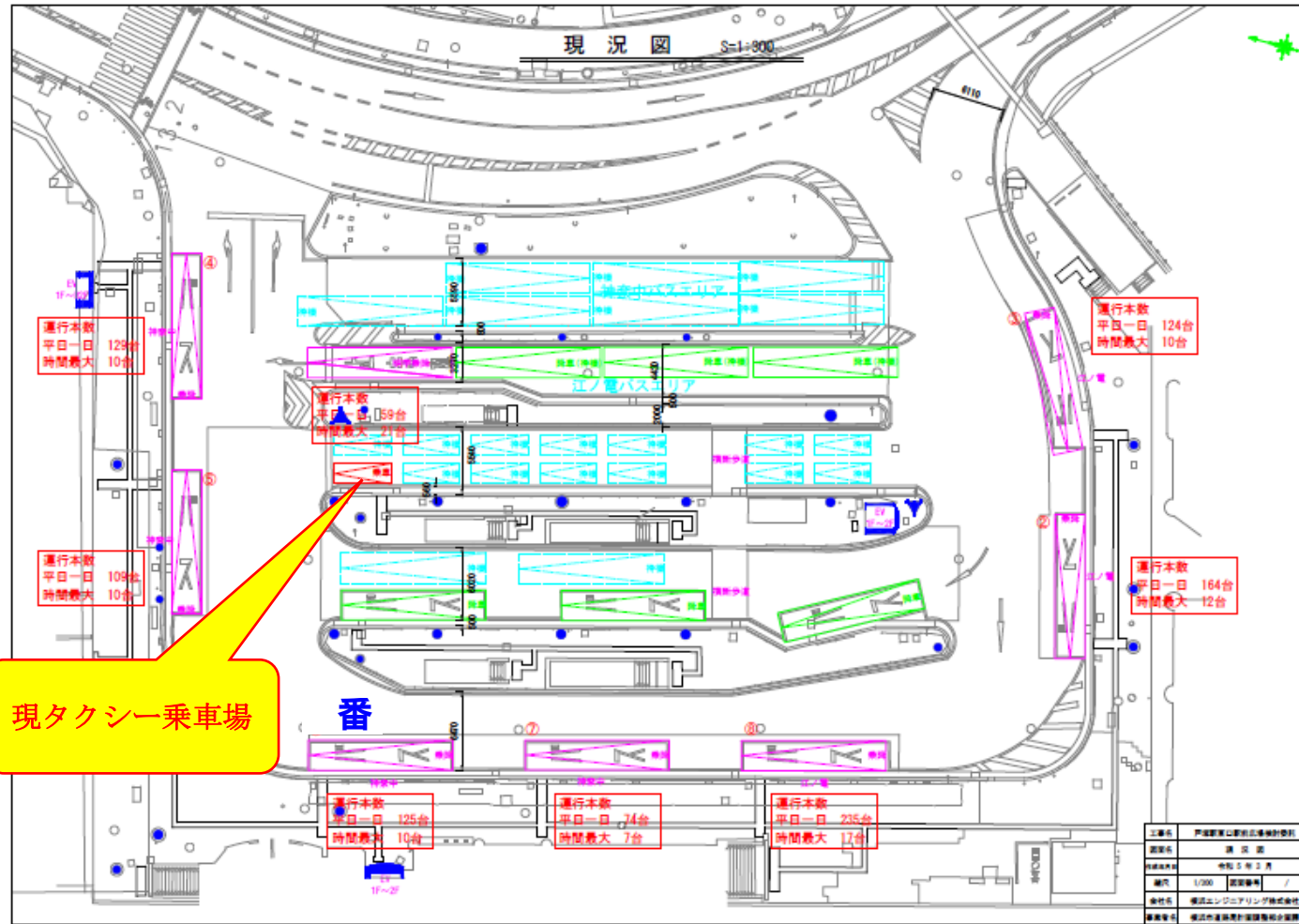
整備後



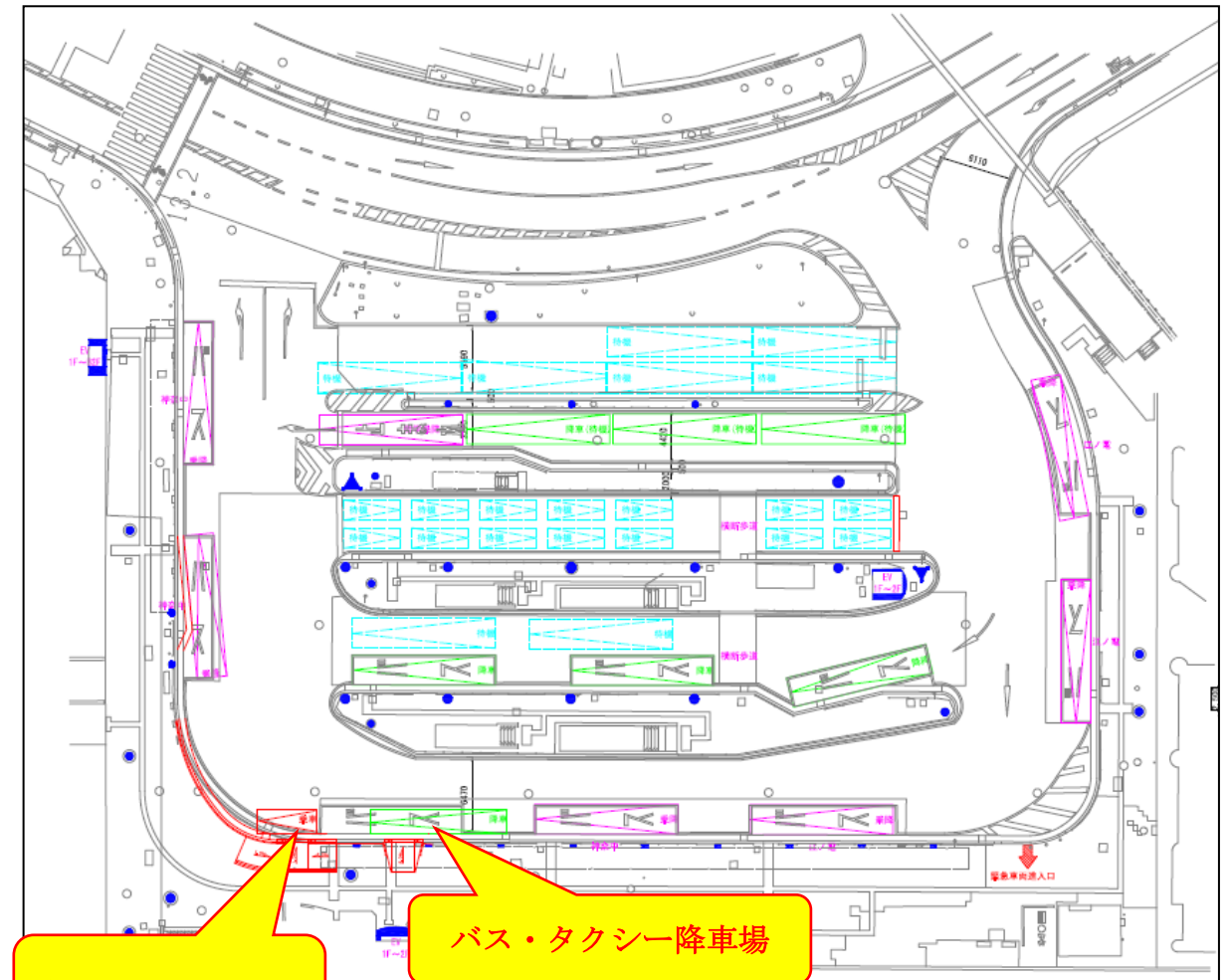
令和元年度に策定した整備更新計画に基づきベンチの改修等を行っています。

各取組の整備・検討状況

1-③ バス・タクシー等の乗降場所全体の再編成（戸塚駅東口駅前広場）



▲東口駅前広場現況図



▲東口駅前広場計画図（案）

戸塚駅東口駅前広場の交通混雑緩和、利便性向上に向けて乗降場全体の再編成に向けて検討を進めています。
 6番ポール（三ツ境方面行）バスの発着場所を西口に移設し、進入車両台数を減らすとともに、交通島内にあったタクシー乗降場の外縁部への移設を検討しています。